

茶屋之町 自治会だより



令和6年1月21日号
発行者:茶屋之町自治会
TEL:32-1715
No.67
茶屋秋まつり
特集号

新年早々、能登半島地震が発生し多くの方々が犠牲となりました。29年前の1月17日に発生した阪神淡路大震災を思い出さずにはおられない被害に心が痛みます。一刻も早い復旧を願ってやみません。(自治会だより編集委員会)

大盛況の『茶屋秋まつり』・その1

茶屋さくら通り協議会(芦屋市、茶屋之町自治会、茶屋さくら通り事業者会)主催で、10月28日(土)に開催。約2,000人の参加者で大盛況。多くの方々からのご協賛をいただき大変有難うございました。紙面を借りて御礼申し上げます。

★盛況裡に終わった要因は

①芦屋市に多大な協力をいただいた(職員の皆さん20名の協力)。



(上の左右) 仮設駐輪場の設営準備と利用状況



(上) テント設営



(上の左右) 茶屋さくら通りの駐禁コーンと看板設置



(上) 終了後の撤収作業

②茶屋公園と茶屋さくら通りの人の流れが盛んであった。

茶屋さくら通りの「クイズラリー」
ゴールを受付に置いた「ガチャ」
にしたこと
テントを確保

茶屋さくら通りで購入した食事を
摂り、休息できるようにしたこと



(上)
受付のガチャ



(上)
テントで食事

大盛況の『茶屋秋まつり』・・その2

- ③子どもたちが大勢来場して楽しんでもらえた。
受付で子ども向けクーポン券を用意。子ども会に入会していない町内の子どもが約30名来場。町内在住の子どもの実数が把握できた。(右写真)



★反省点

- ①食べ物が直ぐに売切れてしまった。
メインのカレーは300食準備したがあっという間に完売。
(開始時刻を遅らせることも検討の必要がありそう。)
②男性スタッフが少なく準備の人手が不足気味である。



会場風景・・茶屋公園 (一部紹介)

★飲み物はラムネが大人気

★子ども向けゲームの賞品は町内事業者からの協賛品が大人気



(上) 子どもダンスでオープニング



(上2枚) 大好評のカレー、コーヒー



(上) フランクフルト
ソーセージ



(左右)
子ども会の
ゲーム



(上) ラムネ等の飲料



(上) 協賛いただいた
お菓子

(右)
人気者の「はばタン」



大盛況の『茶屋秋まつり』..その3

★協力参加



精道ダンジリ



ナルク 苜屋



茶屋保育園



バルンアート



社協・苜屋市



堺の野菜

会場風景・茶屋さくら通り (一部紹介)



左) スタン
プラリー用
フミポン
子どもに
大人気



(上下左右 4 枚) 事業者が
歩道で食材を販売



上) 親子が一緒にダンジリを曳く

フィナーレ



左) 高島市長も参加者と
触れあう

右) 終了後、参加者全員
の集合写真を撮影



エリアブランディングの計画が少しずつ進んでいます

芦屋市作成

新しい「まちづくり」が始まります

今年から官民連携（住民・自治会・事業者・芦屋市など）で道路や公園などを使った新しい「まちづくり」を始めます。

あしやAP（エリアプラットフォーム）が様々なことに挑戦していきます。

自分たちの新しい「まちづくり」を一緒に進めていきましょう！

あしやAP（エリアプラットフォーム）って？

GOODな芦屋のミライをディスカッションするチーム。茶屋之町・大榎町・公光町・業平町・宮塚町・上宮川町にある公共空間（道路や公園など）や民間施設の新しい使い方を作戦会議していきます！

何を目指すの？

官民の多様な主体が交流し、新たな価値を創出するエリアをつくります。（エリアブランディング）

これまで、茶屋秋まつり・七夕フェスタなど、空間の使い方を社会実験として取り組みました。これからは、歩行者天国など、地域による空間活用を考えます！

その他の活動紹介

★自治会

☆7月に開催した〔七夕フェスタ〕で武庫川女子大生が取り組んでくれた「まちの魅力再発見プロジェクト」の「絵本『さくらまちとミライ』」が完成。完成後、診療所、集会所、保育所等に置きました。



(左)
絵本の
表紙



(左右)
学生から
市長、
自治会へ



☆茶屋公園の清掃



(第2日曜日午前)
高島市長も一緒に汗を

☆茶屋さくら通り落葉清掃(ナルク芦屋)



(左右) 2回にわたり延べ
18名が参加

★サロン・ドゥ・茶屋

☆芦屋市老人クラブ連合会 設立60周年記念



オープ
ニングは
関学OB
の演奏

☆スマホ教室(12月9日)



講師役の甲南高校3
年生はこの日が最
後。大変お世話に
なりました

☆ みんなで歌おう会



唐崎真理子
さん指導で
楽しく歌い
ました

同校生徒が「スマホで広がる、人との輪」と
いう#YouTube 甲子園をUP

<https://youtu.be/VEU8x0PhT7g?si=-oxzEhcLUk9nkbFT>

アクセスしてご覧ください

★子ども会

☆クリスマス会 (12月17日)



茶屋集会所で
安木さんによる
バルンアートを
楽しみました

★お知らせ

リード芦屋のホーム
ページ「ためマップ
芦屋」で自治会だより前
号をご覧ください。
右のQRコードを
読んで下さい



茶屋之町こぼれ話・・・地域に開かれたお寺を目指して (西法寺 上原照子)

早いもので今年も新しい年を迎えましたが、能登地方の地震の一報で不安な幕開けとなりました。

振り返れば西法寺も平成7年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受け建て替えを余儀なくされました。お寺とは言い難い伽藍ですが、これはいつまた起こりうるかも知れない災害に備えて強度の耐震・耐火構造でいざという時にどなたでも避難していただける建物にしています。

震災時は、かろうじて建っていた本堂で多くの被災された方とともに避難生活を送り、様々なボランティア活動を展開することができました。

その時にこれが本来のお寺のあるべき形であると実感しました。

一昔前まで地域におけるお寺の役割は、宗教的な施設としてだけではなく、地域に密着した多くの役割を担っていました。それは地域に関する協議の場として集会所の役割、盆踊りなどのイベント会場や趣味や娯楽を提供する場として、寺子屋という教育施設としても利用されていました。いわゆる人と人とのコミュニケーション形成に大きな役割を担っていたといっても過言ではありません。

幸にして茶屋之町は「自治会」や「サロン・ドゥ・茶屋」の活動が高い評価を得ており、西法寺もその恩恵を受けお寺のイベントにも賛同をいただいております。

毎年、1月17日の5時46分に「阪神淡路大震災犠牲者追悼会」は過去の災害の経験や教訓を風化させないため日時を震災時に合わせ開催しています。近隣の方の参加のもと今年は29年目を迎えることになりました。

この日に限らず、震災伝承の授業の一環として、また震災モニュメントを巡るため、震災を知らない多くの学生たちが毎年屋上の**ドラム缶(写真)**の鐘を撞きに訪れます。

震災は怖いというだけでなく災害国日本の自然災害を理解し、適切な対応につなげるために訪れるのです。

地震などの自然災害に人間は無力であるとよくいわれますが、被害を最小限にとどめ尊い命を守るために備えることは可能です。震災を経験した者として、非常時に円滑に助け合いができるように日頃から地域の活動に参画していただくことを願って止みません。



(写真左中) 阪神大震災当時、自らも被災し、倒壊したお寺の敷地内に各地から取り寄せたドラム缶を炊き出しや暖取りに使用されていました



(写真右) 改築したお堂の屋上で鐘として使用中